

「5町内会役員の皆さんと町長との語る会」記録（H31.2.17） 参加者 男性18人

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
1	<p>国道7号線の文下地内から藤島方面への延伸がなされないため、主要地方道藤島由良線については、特に通勤時間帯の交通量が多く、実際に交通事故も発生している。そのようななか、堤野・横内地内は道幅が狭く大変危険である。今後、県道の拡幅工事が行われる予定はあるのか。また、国道7号線の藤島方面への延伸は予定されているのかを確認したい。</p>	<p>[町長] 県管理道路である主要地方道藤島由良線については、早急な改善ができず、地元の方々には大変申しわけなく思っています。 県道の道路拡幅が難しいためバイパス機能を持たせることについては以前から話がありましたが、なかなか県の対応が進まない状況にあります。また、横断歩道に関しては、道路の両側に住宅があり、特に子供やお年寄りの道路横断が危険であることから、改めて横断歩道の必要性を県にも訴えていきたいと思います。 それから、国道7号線の文下地内から藤島方面への延伸については、鶴岡市が国道7号線から国道345号線までをつなごうと強力に運動を推し進めていますが、県の財源確保が非常に難しいことから前に進んでいない状況にあります。</p>	<p>建設環境課 （建設係）</p>	<p>（左記回答のとおりです）</p>
2	<p>「1」の状況から、（堤野・横内）集落の入り口付近にパトカーを置くだけでもいいので速度規制を行っていただくよう働きかけていただきたい。 併せて、通学バスや定期バスなどを除く大型車両の進入を禁止し、地域内の安全を確保していただきたい。</p>	<p>[町長] 通行規制について、両田川橋は大型車両の通行規制が行われ、代替路線があるので、同様の対応ができないか県に要請していただきたいと思います。</p>	<p>総務課 （危機管理係）</p>	<p>（左記回答のとおりです）</p>

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
3	<p>来年度からの取り組みとして、空き家の地権者から町に対して無償提供があれば、町で解体して販売し、生活環境の保全を図っていくとのことであるが、整地した土地を町内会で管理することは考えられないものか。</p>	<p>[町長] 全国的にどの市町村も空き家問題の対応に苦慮するなか、町に対して空き家の適正管理の要望を受け、個人所有物であるため対応できないのが現状であります。それならばと町に寄付していただければ、空き家を解体し、土地を整地して販売する取り組みを来年度から行いたいと思っています。結果として、町内会が土地を譲り受け管理することを希望するのであれば、そういう方法も検討していく必要があると思っています。</p> <p>[副町長] 町内にあるすべて空き家や空き地が、町に寄付できる状態かという、（相続や所有者などの問題で）そうもいかないのが現状ですが、この事業をやることによって1件でも2件でも解体が進み、生活環境の改善につながっていければと思っています。</p>	建設環境課 （環境整備係）	<p>平成31年度から、空き家等とその敷地を地権者から町に寄付していただいた場合、町で建物をリフォーム等するか、解体撤去して、リフォーム後の建物や整地した土地等を販売又は貸出しする予定です。</p> <p>利活用の方法は、リフォーム後の建物や整地した土地等を希望する町内会等の団体と使用貸借契約のうえ無償貸出しすることも予定しています。</p>
4	<p>堤野町内会にも小学生の通学路に面している塀や壁がある。補助金の制度化を行っていただけるとありがたい。</p>	<p>[町長] 学校のPTAでも、学区内の安全確認などが行われており、町に対して危険箇所の報告や改善要望をいただいております。町内では幸いにして、ブロック等の倒壊による事故は発生していませんが、点検を含め、どんな対策が必要なのか、しっかり考えていかなければならないと思っています。</p>	建設環境課 （環境整備係）	<p>平成31年度から危険ブロック等の解体撤去工事費に対する補助事業を実施する予定です。対象となるのは、道路に面している危険ブロック等で建築基準法の基準に適合しないもの又は倒壊の危険性があるものです。補助率は2分の1で、補助金額の上限は10万円の予定です。</p>

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
5	堤野町内会と横内町内会の間で、小学生の通学路にはなっていないが防犯灯のないところがあるので設置をお願いしたい。	<p>[副町長]</p> <p>防犯灯については、これまで新設は全額町負担、修繕等は町が町内会に対して工事費の2分の1を補助してきましたが、来年度からは新設及び修繕に係る工事費の2分の1を補助する予定であります。</p> <p>また、町内会の負担が増えることを考慮し、電気料金については、これまで全額町内会負担としておりましたが、来年度からは(LED化した場合の)電気料金の8割相当分を町が補助する考えであり、積極的なLED化を進めていきたいと考えています。</p>	総務課 (危機管理係)	(左記回答のとおりです)
6	道路補修の際、レミファルトでの一時的な補修をやめていただきたい。補修してもすぐ壊れてしまう。鶴岡市ではレミファルトは使っていないはずである。	<p>[町長]</p> <p>あくまで応急措置として、町から道路の維持管理を依頼している方から対応していただいている。</p> <p>町道に関しては 穴や亀裂が広がった場合、一旦はレミファルトで補修し、そのあと、本当の舗装を行っているのが現状です。建設環境課で道路パトロールは行っておりますが、補修が必要な箇所は増えていると思われま。道路維持業者にはできるだけ早い補修対応をお願いしていますのでご理解ください。</p> <p>レミファルトの件については建設環境課にしっかり伝えます。</p>	建設環境課 (建設係)	<p>常温合材(レミファルト等)は通行者の安全を確保のため、緊急に舗装を補修する場合に使用しております。</p> <p>近隣市町でも必要に応じ使用している状況にあります。</p>

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
7	子育て支援の充実が進むなか、高齢化の進展も避けては通れない課題であり、介護予防事業、特に男性に対する現実味のある施策・指導・支援に努めていただきたい。	[副町長] 町も積極的な取り組みを行っていきたいと考えていますので、貴重なご意見としてお預かりさせていただきます。	健康福祉課 (地域包括支援センター)	男性からも積極的に介護予防に取り組んでいただくためには、男性特有の趣味や経験を地域活動に活かすなど、今までの介護予防とは異なる視点で、その内容を検討し、仕組みづくりに向けて働きかけていく必要があると受け止めております。
8	昨年の秋に県道の草刈を行っていただいたことに感謝する。	[副町長] ありがとうございます。	建設環境課 (建設係)	ありがとうございます。